

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 道路建設課			内線等	2273
事務事業名	県道豊岡三谷港線整備事業				事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等					A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	県道豊岡三谷港線整備事業に伴う用地補償業務を補助し、
手 段	連絡・調整、交渉、代替地情報等を提供することにより、
想定する成果	用地補償交渉の円滑化、事業の推進が計られ、市民福祉の向上に寄与する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
用地買収面積		145.15㎡ / 407.62㎡	262.47㎡ / 407.62㎡
補 償 件 数		4件 / 6件	2件 / 6件
工 事 費 (委託料含)		0円 / 100,000千円 (実績 / 計画)	0円 / 100,000千円 (実績 / 計画)

成果指標

成果指標名	用地買収率	事業進捗率
成果指標の説明	累積買収済面積 / 総買収面積 × 100	累積実績事業費 / 総事業費 × 100

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		0.00%				35.60%				100.00%			
成果指標		0.00%				34.80%				59.60%			
事業費	事業費												
	人件費	-				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.0	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	0				2,343				2,354			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	0				2,343				2,354			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	-	3	-	中断していた用地買収が、地権者の協力により、目標どおり進捗している。
経済効率性	1	-	1	-	用地取得の途中であり、投入された予算に対する効果はでていない。
事務効率性	3	-	3	-	愛知県が行う補償業務の補助を市が行うが、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	-	3	-	交通安全の確保、市民の利便性向上のため、中断していた道路整備を早急を実施すべき事業であり、市が県の補助を行うべきものである。
小計	10	0	10	0	
施策への貢献度	3	-	3	-	快適でやすらぎのあるまちづくりの実現に向け、非常に効果のある事業である。
合計	13	0	13	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	-	A	-	J R 三河三谷駅北の新幹線ガードから国道247号中央バイパスまでの区間を整備することで、通勤・通学者の安全確保、市街地の渋滞解消を図ることができる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

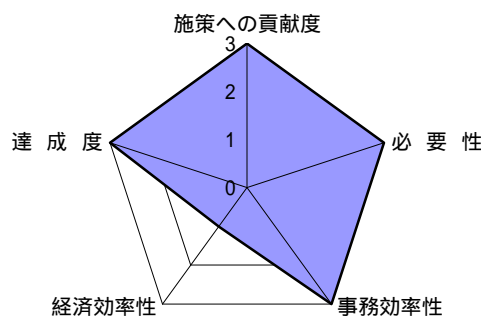
県道と交差する市道を改良するための工事費

今後の方向性

**現状維持**

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点